CVPT

VOICE TRAINER TRAINING SCHOOL

2027年4月生

CURRICULUM BOOK

講師 ジウコトモニタ（谷本恒治）

ABOUT CVPT

CVPTとは…

Clearvoice Providence Training Method の略

Providence ＝ 摂理

筋肉エネルギー量や筋肉バランスといった“科学”の観点にとどまらず、さらに深掘りした「反射」「代用動作」といった人の脳、神経の“摂理”を元にボイストレーニングを考察していくことを目的としたメソッドです。

なぜCVPTの養成カリキュラムが必要なのか

昨今の科学の進歩は目覚しいです。僕自身も日々勉強していかないと追いつかないほど、これまで分かっていなかったことが解明されてきています。

しかし、近年のボイストレーナー養成スクールは、「いかに他社より科学を先取りするか」「いかに科学を深掘りするか」に特化し、“ボイストレーナーを養成する”のではなく、“最新の科学を教える”スクールになっています。

> CVPTボイストレーナー養成スクールは、
> “科学を教えるだけのスクール”ではなく、
> “ボイストレーナーを養成するスクール”です。

科学の知識はもちろん必要です。当然そこもCVPTで学んでいただきます。それに加え、“結果ではなく原因を追究する”、“周波数ではなく意図を聞く”、“「分かっちゃいるけどやってしまう」動作の改善”といった、「科学を知った」だけでは解決できない部分の改善、“中長期的指導設計”、“コーチング”といった、生徒さんの導き方まで、“科学者”ではなく“ボイストレーナー”として必要なスキルを身につけていただきます。

PHILOSOPHY

CVPTの強み

“ 科学 ” ではなく “ 摂理 ”

何をしようとした時に筋肉がどう動くか、これは “ 科学 ” です。科学の知識はマストです。が、人の動作はそれだけでは語れません。

コケたら手をつく、目の前で手を叩かれたら目を瞑る。これらは「反射」です。誰に教わった訳でもなく、自分で考えた訳でもなく、何かに対して反射的に “ 脳が考える前に ” 体が動く。これが動物の “ 摂理 ” です。

この “ 摂理 ” を、時には抑止し、時には上手く利用することで、発声をよりベストな方向へ導いていくのがCVPT理論です。

“ 周波数 ” ではなく “ 意図 ” を聞く

“ 科学 ” が解明できることはただの “ 事実 ” です。
「2〜4kHz辺りの成分が少ない。舌が後ろに引っ込んでいるな…」これは事実を考察したに過ぎません。

CVPTで考えるのは「何が原因で舌が後ろに引っ込んでいるのか」「何をしたかった結果、舌を引っ込めるという動きを覚えてしまったのか」という “ 意図 ” の考察です。歌声には必ず「こうしたい（それが正しい方法かは別として）」という “ 意図 ” があります。

CVPTの強み

“ 結果 ” ではなく “ 原因 ” の考察

大変失礼を覚悟で書きますが、ここがほとんどのメソッドに欠けている部分です。

「喉が上がっているのが “ 原因 ” で高音が出しにくい」
「TAとCTの筋肉のアンバランスが “ 原因 ” で声が裏返る」

これは “ 原因 ” ではなく “ 結果 ” です。「肩が痛い “ 原因 ” は肩こりです」と言われれば、いやいや、そもそもの肩こりの “ 原因 ” を知りたい、と思いませんか？

なぜTAとCTのアンバランスが起こるのか、なぜ喉が上がるのか。それらの “ 結果 ” に対する “ 原因 ” を解決していくのがCVPT理論です。

代用動作の抑止

“ 科学 ” ではなく “ 摂理 ” を体系化した分野です。重いものを持つ時、腕の力が足りないと足腰が踏ん張ります。ダッシュした時、より速く走ろうとすると腕を振ります。

このように、人の体は「どこかの力が不足、あるいは働かないと、他の部位がその役割を補助、代用しようとする」という性質があります。先述の “ 原因 ” を考察し、代用動作を抑止、時には上手く利用することで発声をよりベストな方向へ導くことができます。

理論は「答え」ではありません。あくまでも、摂理・意図・原因・代用動作を考察するための「材料」に過ぎません。

CVPTでは「理論の活かし方」を学び、「選ばれるボイストレーナー」になるための力をつけていただけます。

INSTRUCTOR

講師紹介

ジウコトモニタ（谷本恒治）

ボイストレーナー歴22年 / ボイストレーナー指導歴6年（2026年時点）

作家 / 音楽プロデューサーの経験を経てボイストレーナーの道へ。発声理論の観点と、プロデューサーの視点での“意図”の聞き方から、独自のスタイルを築く。

指導実績

オリコン5位以内常連アーティスト / 某歌番組常連シンガー / 某連続ドラマ主題歌シンガー / アニソンシンガー / 某有名喜劇俳優 / ロケ番組常連芸人 / ラジオパーソナリティ等、多数指導。

ジウコよりメッセージ

僕がボイストレーナー養成スクールを立ち上げようと思ったきっかけは、全国から「他のボイトレスクールに通ったけど上達を感じられなかった」という生徒さんがひっきりなしに来られることがきっかけです。

「もっと世の中をイケてるボイストレーナーだらけにしたい」
「“きちんと教えられる人”を育てたい」

と決意し、初めは個別に指導していくことから始め、その中で“ボイストレーナーを育てる”というカリキュラムを体系化してきました。

正直、2027年4月のカリキュラムが現時点で僕のゴールです。もちろん以降も常にアップデートしていきますが、その内容は卒業生用コミュニティ「CVPT LAB」で共有していくことになるので、このカリキュラムがひとまずの完成形です。

ボイストレーナー未経験の方でもゼロから学べ、トレーナー経験者でも、これまでの知識をより実践向けに深掘りしていただけるカリキュラムになっています。

> 僕の夢は「日本中イケてるボイストレーナーだらけ」です。
> 一緒に頑張ってボイトレ業界を盛り上げていきませんか？

6-MONTH ROADMAP

全18回のカリキュラム

APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP
CVPT ボイトレ論	エクササイズ 選択基準	指導設計	レッスン 見学	実践 / 声の分析	“選ばれる” 戦略

知識を増やすだけではなく、半年を通して「考察する → 選択する → 設計する → 実践する → 選ばれる」へ。

CURRICULUM STRUCTURE

理論 → エクササイズ選択 → 指導設計 → 見学 → 実践 → 選ばれる戦略

PHASE 1

CVPTボイストレーニング論 (4月)

CONCEPT

発声理論 / 解剖学といった“ 教科書 ”ではなく、CVPTの理念 / 思想、トレーニングへの取り組み方、生徒さんとの向き合い方を踏まえた「ボイストレーニングとは」を説いていきます。“ 教科書 ”を買っただけで終わっている人に“ その先 ”を、トレーナー未経験の人には“ 1から10まで ”を講義していきます。

Chapter 1｜ボイストレーニングとは

ここがCVPT式“ 発声教科書 ”ではなく、“ 指導方法 ”の根幹の部分。発声プログラム™、意図を聞く、正解より納得、事実ではなく原因、といった部分の土台となる考え方を身につけていただきます。

Chapter 2｜発声プログラム™

他の“ 教科書 ”では片づけられない、発声が崩れる根本的な原因。“ 事実 ”“ 結果 ”ではなく“ 原因 ”を見つけ、改善していくという考え方を身につけていただきます。脳科学、運動力学の観点を取り入れた独自のトレーニング論です。

Chapter 3｜各筋肉とトレーニングの考え方

お申込み時にお渡しする内喉頭筋 /
外喉頭筋の機能解説資料を用い、「これはこんな筋肉です」で終わらず、「なぜその筋肉が反応するのか / 反応しないのか」を発声プログラム™の観点から紐解きます。

PHASE 2

エクササイズの選択基準 (5月)

CONCEPT

「発音の選択は？」— 実は発音の選択そのものには大して意味はありません。どういった基準でエクササイズを提示するのか、どのタイミングで次へ移行するのか。より実践的な選択基準を学びます。

Chapter 4｜フォルマント（母音のチューニング）

音響学から見た特徴、フィジカルに何が起こっているのか、そして発声プログラム™から見た“ なぜそうなるのか ”“ なぜそうせざるを得ないのか ”を分析。“ 事実 ”“ 原因 ”“ 意図 ”の観点から適切な選択方法を学びます。

全18回のカリキュラム

Chapter 5｜オンセット（発音のコントロール）

発声プログラム™再構築の直接的なトレーニング内容。息、声帯、子音の発音のコントロール。科学的分析による「強い / 弱い」だけでは片づけられない、バランス、タイミング、その整え方を学びます。

Chapter 6｜CVPT 4 DESIGN

中長期的な指導設計を考えるにあたって、指針となる「声」をデザインする4つのフレームワーク。

01	BREATH	息のコントロール
02	ARTICULATION	発音
03	FORM	各部位のポジション
04	VOCAL CORDS	声帯コントロール

PHASE 3　指導設計（6月）

CONCEPT

「知っている」と「教えられる / 導ける」は全く別のスキルです。「決め付けレッスン」「行き当たりばったりレッスン」ではなく、一人一人にあった導き方を設計できる力を身につけます。

Chapter 7｜CVPT 4 APPROACH

「こういうタイプにはこう」と、生徒さんが来る前から決めつけるのではなく、判断力 / 分析力を身につけながら、SUCCESS / AWARENESS / CONTROL / INTEGRATION の4つのアプローチを学びます。ここで“事実”ではなく“意図を聞く”スキルも身につけます。

Chapter 8｜中長期的指導設計

「今は触れないでおこう」「ここは先に潰しておこう」。キャリア、レベル、進捗、性格などを加味し、CVPT 4 DESIGNの観点から設計、OKラインの設定までを考えていきます。

Chapter 9｜コーチング論

相手は「波形」ではなく「人間」。接し方、言葉の選び方、OKラインの設定、課題の与え方、心のほぐし方、向き合い方など、レッスン全体の捉え方を学びます。

PHASE 4　レッスン見学 (7月)

CONCEPT

次のPhaseで実際に声の分析をしていただく前に、僕のレッスンをリアルタイム（オンライン）で見学していただきます。現場の空気感をシミュレーションし、卒業後すぐにスタートを切れる準備をします。

Chapter 10〜12｜CASE 1〜3

実際の50分レッスンを見学し、「なぜその選択をしたのか」「なぜその選択をしなかったのか」「何を聞いたのか」「何を判断したのか」を学びます。見学後はフィードバック、質疑応答を行います。

PHASE 5　実践 / 声の分析 (8月)

CONCEPT

実技のようなPhaseです。トライ＆エラーを繰り返し、未経験の方でも実質的な経験を積みます。経験者の方も、“ 結果ではなく原因 ”“ 意図を聞く ” というアプローチでトレーナーとしての幅を広げます。

Chapter 13｜体験レッスン時

前月のレッスン見学での判断基準、提案方法を参考に、実際の生徒さんの声を聞き、分析、エクササイズの提案を行ってもらいます。その提案に対し、僕がアドバイスしていきます。

Chapter 14｜入会後一ヵ月

一回のレッスンでの判断に加え、一ヵ月の進捗を踏まえたCVPT 4 APPROACHの進め方を考えます。何ができて何ができていないのか、何に反応しやすくて何を嫌がるのか、といった科学以外の分析力を身につけます。

Chapter 15｜入会後三ヵ月〜半年

「飽きがこないように」と「限界を感じてしまわないように」のバランスが求められる段階。さらに長期的に通ってもらえるような設計力、CVPT 4 DESIGNの組み立て方を身につけます。

PHASE 6　“ 選ばれる ” 戦略 (9月)

CONCEPT

いくら優秀なボイストレーナーでも、知られていなければ宝の持ち腐れです。ここでは「選ばれる」ために必要な戦略、見せ方、売り方を学びます。未経験の方でも、集客をゼロからお手伝いできる内容です。

Chapter 16｜傾聴術

科学だけで進めていくと、生徒さんを “ 置き去り ” にするレッスンになる危険性があります。「なんでも話してね」だけでは人は話せません。いかに生徒さんの “ 心の声 ” に耳を傾け、寄り添ったレッスンができるか。そのスキルを伝授します。

Chapter 17｜ブランディング

ここがボイストレーナーの “ 核 ” になる部分です。カップヌードルは間違いなく美味しい。でもどこでも買えます。では、「あなたからカップヌードルを買う “ 理由 ” は？」。“ 販売店 ” ではなく “ ラーメン屋 ” として生き残るための「差別化」「選ばれる理由」を作る方法論を学びます。

Chapter 18｜マーケティング

競合他社（他者）にはない “ 強み ” を身につけた。「で、それを誰が知っているの？」。最終章では、“ あなた ” という商品をどこに売ればいいか、どのフィールドで戦えばいいのかを考える力、“ 見せ方 ” を学びます。

知っている → 教えられる → 導ける → 選ばれる。
半年間で、ボイストレーナーとして必要なスキルを段階的に積み上げます。

THE GOAL

半年後に目指してほしい姿

CVPTボイストレーナー養成スクールは、
「知識を得る場」ではありません。

「トレーナー未経験の方がジウコトモニタになれる場」です。

もちろん、卒業した後もあなたはメキメキとレベルを上げていくことでしょう。その手助けとなる「考え方」を手に入れる場です。

“ 商材ではなく思考を手に入れる ”

同じ商材を使えば、AトレーナーもBトレーナーも教える内容は同じです。そうなると生徒さんがトレーナーを選ぶ基準は、立地と料金しかありません。

あなたは価格競争をしたいですか？
それとも指導スキルで差別化を図りたいですか？

観察 → 仮説 → 提案 → 反応 → 修正

質の高い商材を抱えた“ 伝書鳩 ”ではなく、“ 自分でレッスンを組み立てられるトレーナー ”へ。生徒さんの“ 意図 ”を観察し、仮説を立て、エクササイズを提案し、反応を見て修正する。このサイクルをトライ＆エラーを繰り返しながら早めていくことで、あなたのトレーナーとしての評価が上がっていきます。

> “ 理屈を説明できる ”から、“ 生徒さんの声を変えられる ”へ。
> CVPTボイストレーナー養成スクールは、あなたをそこへ導きます。

ADMISSIONS

募集概要

募集	2027年4月生
期間	2027年4月〜2027年9月（半年間）
グループ講義	全18回 / 月3回 第一・第二・第四水曜日 21:00〜 / 40分
マンツーマントレーニング	全12回 / 日時自由選択 / 1回50分
グループ講義	Zoomによるオンライン 顔出しなし / 質問はチャット可
マンツーマン	対面 / オンライン（Zoom）どちらでも可
受講料	**398,000円（税込）**
お支払い	お振込み（一括） お振込み先はお申込み後にご案内します

CVPT VOICE TRAINER TRAINING SCHOOL

2027 APRIL